

和

日本人の誰もが、幼児の頃から口にしてそれぞれの
家庭の思い出がしみ込んだ飲み物お茶。
気負うことなく、臆することなく、
そこにはそれぞれの思いの中に等身大のお茶があります。
しかし多様化する日本人のライフスタイルは、
紅茶やコーヒーなど異種文化の中にも新たな発展性を
見い出しているのも事実です。
けれども、和菓子にはお茶が似合うし、
畳の上には緑色のお茶がやっぱり似合うのです。
その感性が分かるのもやはり私達が
『和の国の住人』だからではないでしょうか。

和の国の住人



そして21世紀、お茶の未来は
これまでと同じ、食文化の中での飲料としてのお茶には、
急激な消費拡大は望めないのかも知れませんが
しかし『健康』というキーワードを得て、世界レベルで
注目されはじめたお茶やお茶関連商品の市場規模は
四千億円以上と言われ、
そこには大いなる可能性が秘められています。
既にヨーロッパ等への輸出も年々増加、徐々にではありますが
お茶の愛好国も増えてきています。
世界の人々が手頃な選択肢の一つとしてお茶を
楽しむ日も21世紀には迎えられるのではないのでしょうか。



文化と創造

彩



Japanism